



次の(1)～(7)の問いに答えなさい。

(1) 次の①～③を計算しなさい。(各5点)

①  $5 - 4 \times \frac{3}{2}$

②  $4a^3b^4 \div 2ab \div 3a^2b$

③  $(\sqrt{6}+3)(\sqrt{6}-3)$

(2) Aさんが家から1480m離れた駅へ向かうのに、途中までは毎分80mの速さで歩き、その後は毎分120mの速さで走ったところ、家を出発してから駅に到着するまでに15分かかった。

このとき、次の①、②の問いに答えなさい。(各3点)

① Aさんが歩いた道のりを $x$  m、走った道のりを $y$  mとすると、「家を出発してから駅に到着するまでに15分かかった」という数量の関係を、等式に表しなさい。

② Aさんが走った道のりを求めなさい。

(3) A工場とB工場では、ともに同じ製品をつくっている。

製品は、1袋あたり20個の菓子が入ったものであり、正しい個数が入ったものは合格品、個数が異なるものは不良品とみなされる。右の表は、2つの工場で作られた製品のうち、A工場からは240袋、B工場からは300袋の製品を無作為に抽出し、1袋に入っている菓子の個数を調べたものである。

個数(個)	度数(袋)	
	A工場	B工場
18	0	1
19	1	2
20	237	294
21	2	3
計	240	300

このとき、次の①、②の問いに答えなさい。(各3点)

① この表からいえることとして正しいものを、次のア～エのうちから1つ選び、符号で答えなさい。

ア A工場よりもB工場の方が、合格品がつくられやすい。

イ B工場よりもA工場の方が、合格品がつくられやすい。

ウ A工場とB工場では、合格品のつくられやすさは同じである。

エ 合格品のつくられやすさはわからない。

② A工場で30000個の製品をつくったときの不良品の数を推測しなさい。

(4) 次の①、②の問いに答えなさい。(各3点)

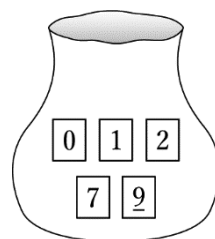
①  $\sqrt{a}$ の値が有理数となるような $a$ の値を、次のア～エのうちからすべて選び、符号で答えなさい。

ア  $a=0.4$       イ  $a=4$       ウ  $a=\frac{1}{4}$       エ  $a=0$

② 右の図のように、0, 1, 2, 7, 9の数字が1枚に一つずつ書かれた5枚のカードが袋の中に入っている。この5枚のカードを袋の中でよく混ぜ、同時に2枚取り出し、取り出した2枚のカードに書かれた数の和を $a$ とする。

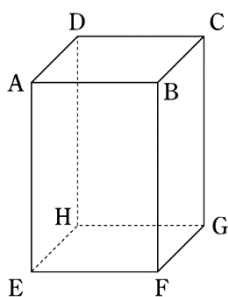
このとき、 $\sqrt{a}$ の値が有理数となる確率を求めなさい。

ただし、どのカードの取り出し方も同様に確からしいものとする。



- (5)  $n, a, b$  を整数とする。 $x^2+nx-3$  を因数分解すると、 $(x+a)(x+b)$  となるとき、 $n$  にあてはまる整数を 2 つ求めなさい。 $(n$  の値ひとつにつき各 3 点)

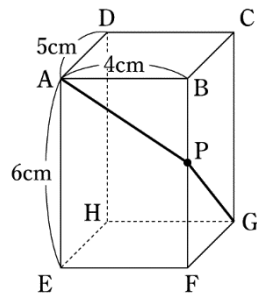
- (6) 下の図のように、直方体  $ABCD-EFGH$  がある。  
このとき、次の①、②の問いに答えなさい。(各 3 点)



- ① 辺  $AB$  とねじれの位置にある辺を、次のア～エのうちから 1 つ選び、符号で答えなさい。

ア 辺  $BF$       イ 辺  $EF$       ウ 辺  $HG$       エ 辺  $FG$

- ②  $AB=4\text{cm}$ ,  $AD=5\text{cm}$ ,  $AE=6\text{cm}$  とする。辺  $BF$  上に、 $AP+PG$  の長さが最小となるような点  $P$  をとるとき、 $AP+PG$  の長さを求めなさい。



(7) 下の図のように、3 点 A, B, C がある。このとき、次の条件を満たす円 O を作図しなさい。また、中心 O の位置を示す文字 O も書きなさい。

ただし、三角定規の角を利用して直線をひくことはしないものとし、作図に用いた線は消さずに残しておくこと。(6 点)

条件

- ・円 O は、3 点 A, B, C をすべて通る。

A  
•

B  
•

•  
C

次の(1)～(7)の問いに答えなさい。

(1) 次の①～③を計算しなさい。(各5点)

必答! ① 正負の数：四則  $5 - \cancel{4} \times \frac{3}{\cancel{4}} = 5 - 6$   
 $= -1$

必答! ② 単項式の計算  $4a^3b^4 \div 2ab \div 3a^2b = \frac{4a^3b^4}{2ab \times 3a^2b} = \frac{\cancel{4} \times \cancel{1}^3 \times \cancel{b}^4}{\cancel{2} \times 3 \times \cancel{a}^3 \times \cancel{b}^2}$   
 $= \frac{2}{3}b^2$

必答! ③ 根号を含む計算  $(\sqrt{6}+3)(\sqrt{6}-3) = (\sqrt{6})^2 - 3^2$   
 $= 6 - 9$   
 $= -3$

乗法公式

$$(a+b)(a-b) = a^2 - b^2$$

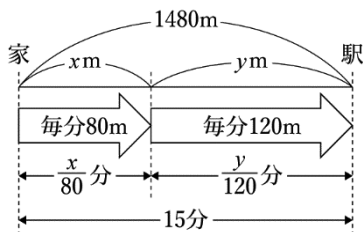
を利用する!



(2) Aさんが家から1480m離れた駅へ向かうのに、途中までは毎分80mの速さで歩き、その後は毎分120mの速さで走ったところ、家を出発してから駅に到着するまでに15分かった。

このとき、次の①、②の問いに答えなさい。(各3点)

必答! ① 数量の関係 Aさんが歩いた道のりをxm、走った道のりをymとすると、「家を出発してから駅に到着するまでに15分かった」という数量の関係を、等式に表しなさい。



左の図より、 $\frac{x}{80} + \frac{y}{120} = 15$  (…①)

② 連立方程式の利用 Aさんが走った道のりを求めなさい。

家から駅までの道のりは1480mだから、 $x + y = 1480$  …②

$$\begin{array}{r} \text{①} \times 240 - \text{②} \times 2 \text{ より,} \\ 3x + 2y = 3600 \\ -) 2x + 2y = 2960 \\ \hline x = 640 \end{array}$$

②に  $x = 640$  を代入すると、 $640 + y = 1480$   
 よって、 $y = 840$

これは問題に合っているので、走った道のりは、840m

- (3) A工場とB工場では、ともに同じ製品をつくっている。製品は、1袋あたり20個の菓子が入ったものであり、正しい個数が入ったものは合格品、個数が異なるものは不良品とみなされる。右の表は、2つの工場で作られた製品のうち、A工場からは240袋、B工場からは300袋の製品を無作為に抽出し、1袋に入っている菓子の個数を調べたものである。

個数(個)	度数(袋)	
	A工場	B工場
18	0	1
19	1	2
20	237	294
21	2	3
計	240	300

このとき、次の①、②の問いに答えなさい。(各3点)

- 【例】** ① **相対度数と確率** この表からいえることとして正しいものを、次のア～エのうちから1つ選び、符号で答えなさい。

相対度数は、  
(度数) ÷ (度数の合計)



- ア A工場よりもB工場の方が、合格品がつくられやすい。  
**イ** B工場よりもA工場の方が、合格品がつくられやすい。  
 ウ A工場とB工場では、合格品のつくられやすさは同じである。  
 エ 合格品のつくられやすさはわからない。

20個の階級の相対度数は、A工場が  $237 \div 240 = 0.9875$ 、B工場が  $294 \div 300 = 0.98$

- ② **標本調査** A工場で30000個の製品をつくったときの不良品の数を推測しなさい。

A工場で不良品がつくられる確率はおおよそ  $\frac{1+2}{240} = \frac{1}{80}$  だから、  
 $30000 \times \frac{1}{80} = 375$  より、おおよそ375袋

- (4) 次の①、②の問いに答えなさい。(各3点)

- 【例】** ① **平方根**  $\sqrt{a}$  の値が有理数となるような  $a$  の値を、次のア～エのうちからすべて選び、符号で答えなさい。

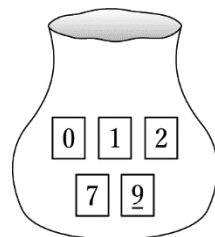
ア  $a=0.4$       **イ**  $a=4$       **ウ**  $a=\frac{1}{4}$       **エ**  $a=0$

$\sqrt{0.4}$  は0.2ではない！  $\sqrt{4} = \sqrt{2^2} = 2$        $\sqrt{\frac{1}{4}} = \sqrt{\left(\frac{1}{2}\right)^2} = \frac{1}{2}$        $\sqrt{0} = 0$

- 【例】** ② **場合の数と確率** 右の図のように、0, 1, 2, 7, 9の数字が1枚に一つずつ書かれた5枚のカードが袋の中に入っている。この5枚のカードを袋の中でよく混ぜ、同時に2枚取り出し、取り出した2枚のカードに書かれた数の和を  $a$  とする。

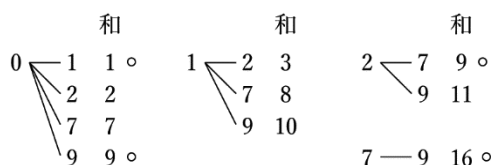
このとき、 $\sqrt{a}$  の値が有理数となる確率を求めなさい。

ただし、どのカードの取り出し方も同様に確からしいものとする。



右の樹形図で、 $\sqrt{a}$  の値が有理数となるのは○印

をつけた場合なので、求める確率は、 $\frac{4}{10} = \frac{2}{5}$



- (5) **因数分解**  $n, a, b$  を整数とする。 $x^2+nx-3$  を因数分解すると、 $(x+a)(x+b)$  となるときの、 $n$  にあてはまる整数を2つ求めなさい。 $(n$  の値ひとつにつき各3点)

$x^2+nx-3$  を因数分解するときの公式は、

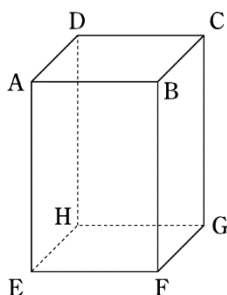
$x^2+(a+b)x+ab=(x+a)(x+b)$  だから、

積が $-3$ 、和が整数 $n$ となる数が存在すればよいので、

$-3 \times 1 = -3$  のとき、 $n = -3 + 1 = -2$

$-1 \times 3 = -3$  のとき、 $n = -1 + 3 = 2$  よって、 $n = -2, 2$

- (6) 下の図のように、直方体  $ABCD-EFGH$  がある。  
このとき、次の①、②の問いに答えなさい。(各3点)



- 警!** ① **2直線の位置関係** 辺  $AB$  とねじれの位置にある辺を、次のア～エのうちから1つ選び、符号で答えなさい。

ア 辺  $BF$

イ 辺  $EF$

ウ 辺  $HG$

**(エ)** 辺  $FG$

→点  $B$  で交わるから×

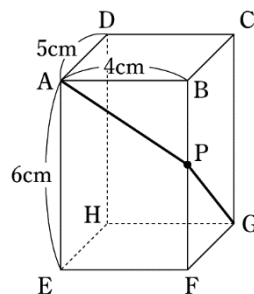
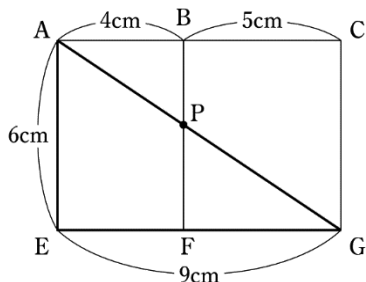
→平行だから×

→平行だから×

→交わらず、かつ平行でないから○

- ② **展開図**  $AB=4\text{cm}$ 、 $AD=5\text{cm}$ 、 $AE=6\text{cm}$  とする。辺  $BF$  上に、 $AP+PG$  の長さが最小となるような点  $P$  をとるとき、 $AP+PG$  の長さを求めなさい。

直方体の展開図において、面  $AEFB$  と面  $BFGC$  を考える。



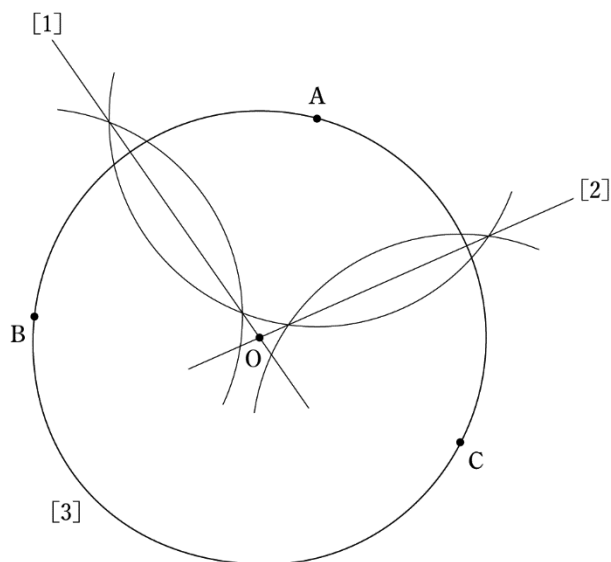
上の図のように、条件を満たす  $AP+PG$  の長さは、展開図における直角三角形  $AEG$  の斜辺  $AG$  の長さと等しいので、三平方の定理より、 $AG^2=AE^2+EG^2=6^2+9^2=117$   
 $AG>0$  より、 $AG=\sqrt{117}=3\sqrt{13}$  よって、 $3\sqrt{13}\text{ cm}$

【7】 下の図のように、3点 A, B, C がある。このとき、次の条件を満たす円 O を作図しなさい。また、中心 O の位置を示す文字 O も書きなさい。

ただし、三角定規の角を利用して直線をひくことはしないものとし、作図に用いた線は消さずに残しておくこと。(6点)

条件

- ・円 O は、3点 A, B, C をすべて通る。



$OA=OB=OC$  となる点 O を作図すればよいから、線分の垂直二等分線の性質を利用して作図する。

[1] 線分 AB の垂直二等分線を作図する。(2点 A, B から等しい距離にある点が出る)

[2] 線分 AC の垂直二等分線を作図する。(2点 A, C から等しい距離にある点が出る)

[3] [1], [2] でひいた垂直二等分線の交点を O とし、O を中心とした 3点 A, B, C を通

る円を作図する。また、中心 O の位置を示す文字 O を書く。

なお、[1], [2] のいずれかを、「線分 BC の垂直二等分線」におきかえてもよい。